

**授業概要**

社会調査のプロセスにおいて、現地において実際に行う調査活動を総称して「フィールドワーク」という。広義には調査票を用いた量的調査もここに含むが、本講義においては質的調査に重点を置きながら、その意義と方法を学習する。

社会調査においては一般に、企画、設計、実査、データ整理、分析、報告、という手順をふむが、何よりも重要なのは「何をあきらかにしたいか」という問題意識とその質である。本講義においては社会学におけるフィールドワークの歴史を辿りながら、フィールドワークⅡにおける実査に向けて、理論や基礎概念を学び、同時に、基礎的な技法としての記録の取り方、まとめ方を学習する。

コロナ禍がどのように進展するか不明なため、不確定要因が大きいのが、学外授業で現場に直接行くことを基本とし、不参加の場合、単位修得はできない。学外授業では、言葉遣いや服装なども指定する。

**授業計画**

第1回	ガイダンス
第2回	フィールドワークとは何か
第3回	フィールドワークの歴史
第4回	質的調査と量的調査の違い
第5回	質的データの分析方法
第6回	研究テーマの決定に向けて1
第7回	研究テーマの決定に向けて2
第8回	予備調査の計画立案1
第9回	予備調査の計画立案2
第10回	記録の取り方(音声記録、映像記録、フィールドノーツ、他)
第11回	予備調査(シミュレーション)
第12回	予備調査データを文字データへ変換(書き起こし)
第13回	予備調査データのとりまとめ、報告用レジュメの作成
第14回	予備調査結果の報告・発表
第15回	予備調査の反省と問題意識の確認
第16回	報告書提出

**到達目標**

質的調査やフィールドワークの歴史や理論、概念の学習。  
フィールドワークのための基礎的な方法や技法の学習。  
問題意識の共有とワーキンググループの形成。

**履修上の注意**

本講義はフィールドワークを実際に行い、報告を行うことまでを目的とするため、ⅠとⅡを連続して受講することを必須とする。実際の調査を行うことから、受講者個々人が責任を持って主体的、積極的に関わることを求める。授業形態はゼミ形式を採用する予定だが、状況次第で別の方式になる可能性もある。

講義内容の学習が覚束ない場合は、先方に迷惑がかかるため、途中リタイアと判断することもあり得る。

**予習復習**

設定した自身の調査テーマに則した情報収集結果を毎回報告してもらおう。

**評価方法**

平常点(授業態度と課題への取り組み方等)40%、報告書作成60%

**テキスト**

テキストは指定しない。必要に応じてプリントを配布する予定である。